食料品製造業

# 株式会社 堀内組

大地を耕し、地域に元気と夢を。



建設業を柱に農業、福祉、環境と多角的に事業を展開。 農業への取り組みでは、地元の農家と競合せず、しかも新たな地域農業を切り拓くことを目的にオリーブ、ブルーベリー、マンゴーを栽培している。地域ブランド作物を生み出すことに成功し、地域の活性化に貢献。また耕作放棄地問題へも積極的に取り組んでいる。

#### ▮補助事業の内容と成果

# 大型オリーブ搾油機導入により、

# 長崎県内のオリーブ事業の産地化を図る。

#### 【事業のきっかけ】

近年、長崎県内においては急激にオリーブ栽培が拡大しているが、オリーブ果実の搾油機は県内に当社所有の小型(30kg)1台しかなかった。しかもその機械はイタリア製で効率が悪く、操作も熟練者が必要であった。またオリーブ果実は収穫後、すぐに酸化が始まるため、直ちに搾油する必要がある。県内のオリーブ生産者の中には、収穫した果実を小豆島まで送り、搾油を委託している人もおり、今後、長崎県でオリーブ事業を拡大するためには、大型の搾油機の導入が不可欠であった。

#### 【事業内容・成果】

導入した大型の搾油機は1度に200kgの搾油が可能。しかもイタリア製で使い勝手が悪かった機械を、操作盤を固定式から稼働式にするなどの改良を加えることで、簡単に操作ができるようになった。その結果、従来の小型の搾油機では、オリーブの果実の処理は1日4回、120kgが限界であったが、1日5回、1000kg以上が可能となった。

また品種ごとに搾油することで5種類の商品展開ができ、 顧客のニーズに合ったオリーブオイルを提案できるようになっ たほか、小豆島をはじめとする他地域との差別化も図ること ができた。

### 【今後の展望】

大量の搾油が可能になったことで、県内のオリーブの産地 化の道筋が見えた。オリーブは果実だけでなく、葉にも効能 があることが証明されているため、今後は葉の有効活用も視 野に入れながら、ビジネスを拡げていきたい。



## 株式会社 堀内組

佐世保市光町109

Te I.0956-47-2127 Fax.0956-48-5069

http://horiuchi-g.co.jp/

代表取締役社長/山下忠則設立/1950年5月11日

資本金/8000万円

業種/総合工事業

従業員数/110名







# ものづくり補助金活用

オリーブの果実の 1日の処理量が約8.3倍!

1日4回 120kg

1日5回 1000kg

オリーブは収穫から搾油までの時間が 勝負。1度に大量の果実を搾油できる ことで、品質も向上した。

